

事業の概要

<公益目的事業>

I 社会経済史・経営史関連事業

- (1) 当文庫の紀要である『三井文庫論叢』の第46号(2012年)を刊行した。
- (2) 経済史・経営史にかかわる研究活動として、上記『三井文庫論叢』のほかに、三井文庫主催の研究会開催、外部の学会・研究会等への参加(発表)などを行った。
- (3) 旧三井物産在米支店関係資料(米国国立公文書館所蔵)、相続会関係資料その他の三井関係資料の調査・収集を進めた。
- (4) 資料保存のため、三井合名会社・三井総元方・三井本社の「傘下」会社資料をマイクロフィルムで撮影した。また、マイクロフィルム劣化対策として複製作成に着手した。
- (5) 北三井家並に伊皿子三井家より寄贈を受けた16ミリ映画フィルムのうち、5本をDVD化した。
- (6) 三井総元方資料を新規公開した。
- (7) 所蔵資料分類目録の整理、所蔵図書目録のコンピュータ入力などを進めた。
- (8) 公的諸機関(地方自治体史編纂等)の資料調査、賛助会社等の広報活動・資料保存・社史編纂、報道関係の取材などに協力した。
- (9) 関係会社、資料保存関係者などの三井文庫見学を受け入れた。
- (10) 資料保存関係諸機関が開催する研修会・研究会などに参加した。
- (11) 三井文庫資料叢書「三井大坂両替店『聞書』2」について、原稿の作成・校正を進めた。
- (12) 戦後三井グループ史関連のヒアリングを行った。
- (13) 日仏経営史会議「流通・市場・消費者」(国立パリ社会科学高等研究院との共催で2007年、2008年に開催)の成果報告集を刊行した。
- (14) 科学研究費補助金の交付(3件)を受け研究を進めた。また科学研究費補助金(刊行助成)の交付(2件)を受け著作を刊行した。

II 文化史・美術館関連事業

A. 文化史関係(資料の保管整理研究事業)

- (1) 展覧会図録を作成した。
 - 特別展図録『琵琶湖をめぐる 近江路の神と仏 名宝展』
 - 小冊子『奥の深さ・面白さがよくわかる イラストで図解 仏画』(以上、三井記念美術館9月発行)

- (2) 三井美術文化史論集第6号を刊行した。
- (3) 国宝「熊野御幸記」と重要文化財「古林清茂墨跡」以上2点の修理を、国庫金および東京都の補助金の支給を受けて、今年度と来年度2年間にわたって実施中。
- (4) 国際浮世絵学会の研究会を当館レクチャールームで開催し、研究発表を行った。
- (5) 文化史資料の整理・調査・研究を行い、論文・解説の執筆、研究誌への投稿、各種学会・シンポジウムへの出席、他館・個人所蔵家等への資料調査などの活動を行った。
- (6) 他館における展覧会等に所蔵文化史資料を出品し、学術文化の振興に寄与した。

B. 三井記念美術館関係（資料の公開事業）

- (1) 今年度は、下記の6回の展覧会を開催したが、平成24年4月1日から平成25年3月31日までに合計153,583人が入館した。平成17年10月8日の開館以降の累計入館者数は1,204,655人となった。
 - ①「茶会への招待—三井家の茶道具— 併設：初公開—新町三井家の新寄贈品から」
 （平成24年4月1日～4月8日） 入館者数 4,746人
 - ②「特別展 ホノルル美術館所蔵『北斎展』 葛飾北斎生誕250周年記念」
 （平成24年4月14日～6月17日） 入館者数 41,848人
 - ③「美術の遊びとところV 三井版 日本美術デザイン大辞展」
 （平成24年6月30日～8月26日） 入館者数 15,848人
 - ④「特別展 琵琶湖をめぐる 近江路の神と仏 名宝展」
 （平成24年9月8日～11月25日） 入館者数 57,381人
 - ⑤「ゆくとしくるとし —茶道具と円山派の絵画—」
 （平成24年12月8日～平成25年1月26日） 入館者数 14,367人
 - ⑥「三井家のおひなさま [特別展示] 酒のうつわ」
 （平成25年2月8日～3月31日） *会期終了日 4月7日
 入館者数 19,393人
- (2) 各展覧会に合わせたワークショップを開催したほか、小・中学校の教職員研修会、親子鑑賞会、学校への出張講座、博物館実習生の受け入れなど、小中学生・高校大学生等を対象とする教育普及活動に積極的に取り組んだ。
- (3) 土曜講座・展示解説など、一般客を対象とした普及活動を行った。また、中央区の要請を受け、区民対象の生涯学習の場として「中央区民カレッジ」（合計6回）を前年に引き続き開催し、地域の文化振興に寄与した。

Ⅲ 松の茶屋保存公開事業

今年度は、平成23年度に実施した設備調査の結果に基づき、前年度に引き続いて電気設備更新と、吉野の間や浴室棟を中心に修復工事を実施した。

「公開」に関しては、4月1日に東京大学茶道部のOB・学生20名、9月24日に早雲寺茶道講座受講者26名の見学会を実施した。また昨年度より開始した箱根町文化財探訪会については、箱根町教育委員会と協議のうえ3月26日に午前午後と2回実施し、計37名が参加した。

また、昨年2月に申請した「国の登録有形文化財（建造物）」については、平成24年9月に文化審議会で答申がなされ、平成25年3月29日付で文化財登録原簿に登録となった。

<収益事業>

I 不動産賃貸業

平成23年8月末に解約となった三井花桐ビル1階101号室は、平成24年6月に新規テナントが入居し全フロアー満室となった。また、昨年行った空調機更新工事（第1期）に続き第2期工事（1階・3階）を実施した。これにより、空調機は全館更新が完了した。

庶務事項

1. 理事会 開催2回

(1) 平成24年5月23日開催(定例)

場 所：東京都千代田区霞が関3丁目2番5号、霞が関ビル23階、月曜会クラブ会議室

第1号議案 平成23年度事業報告の承認の件

原案のとおり承認可決。

第2号議案 平成23年度の計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明

細書並びに財産目録の承認の件

原案のとおり承認可決。

第3号議案 「定款一部（第5条他）変更」を評議員会に付議の件

原案のとおり承認可決。

第4号議案 <停止条件付き決議>

新町三井家、三井依子氏ならびに橋岡一路氏から寄贈の資料（平成23年10月28日臨時理事会決議）を基本財産に組み入れの件

原案のとおり停止条件付（平成24年6月12日評議員会で承認された日より施行）で承認可決。

第5号議案 評議員会に推薦する評議員候補承認の件

原案のとおり承認可決。

第6号議案 定時評議員会招集の件

末松議長より提案があった定時評議員会の招集について、原案を承認可決。

(2) 平成25年3月29日(定例)

第1号議案 平成25年度事業計画案および収支予算案承認の件

原案のとおり承認可決。

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況の報告

末松理事長・岩沙副理事長・由井常務理事文庫長・清水理事三井記念美術館館長より職務の執行の状況について報告があった。

2. 評議員会 開催1回

平成24年6月12日(定時)

場 所：東京都千代田区霞が関3丁目2番5号、霞が関ビル23階、月曜会クラブ会議室

報告事項 平成23年度の事業報告の報告の件

中村事務局長が平成23年度の事業報告について説明を行った。

第1号議案 平成23年度の計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件

原案のとおり承認可決。

第2号議案 定款一部（第5条他）変更の件

原案のとおり承認可決。

第3号議案 評議員二名交代の件

評議員2名より退任の申し出があり、鈴木正一郎氏（王子製紙(株)）の後任として篠田和久氏（王子製紙(株)代表取締役会長）を、矢野恒夫氏（電気化学工業(株)）の後任として川端世輝氏（電気化学工業(株)相談役）を、新たに選任することについて出席者全員異議なく承認・可決。

3. 登記

平成24年6月26日 評議員変更登記

新任 篠田和久・川端世輝

4. 賛助費収入

(株)三井住友銀行ほか全51社 247,960,000円

5. 寄付金収入

三井不動産(株) 3,000,000円

東レ(株) 1,500,000円

三井記念美術館「特別展 琵琶湖をめぐる 近江路の神と仏 名宝展」協賛金として。

6. 三井文庫在勤者数（平成25年3月31日現在）

文庫長（常務理事）	1名	三井記念美術館館長（理事）	1名
事務局長	1名	三井記念美術館参事	1名
研究員	5名	学芸員	4名
司書	2名	三井記念美術館運営部	5名
事務局員	2名	計	22名